

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 環境物質化学コース 講師 辻元 英孝

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成28年度担当科目</p> <p>有機化学Ⅱ（4A）、環境有機分析（4A）                      環境物質化学演習Ⅰ（5A）、環境物質化学実験Ⅱ（5A）、卒業研究（5A）                      理論有機化学（専攻科1年）、工学特別実験実習（専攻科2年）</p> <p>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 有機化学Ⅱ（4A）の授業では、双方向性の授業を実施した。また演習不足な点を解消するため、毎年演習問題を作成し、希望者対象の演習補習を実施した。</li> <li>• 環境物質化学演習Ⅰ（5A）では、これまでの有機化学の総復習問題としての演習問題を配布し、個人での調べ学習およびグループ学習を実施し、解答を板書させ、解説した。</li> </ul>
研究	<p>◆ 平成26～28年度における研究業績</p> <p>■ 学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Ryusei Oketani, Teruyuki Miyake, Seiho Jinnai, Takuya Fukui, <u>Hidetaka Tsujimoto</u>, Michio Matsumura, and Suguru Higashida : Formation of Lactones by Decarboxylation of Aromatic Diacids via TiO<sub>2</sub>-Mediated Photocatalytic Reactions in Acetonitrile Solution, <i>Chemistry Letters</i>, H28.3.</li> </ul> <p>■ 学術講演会での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名取圭紀, <u>辻元英孝</u> : カルボキシル基を有するリン光性発光材料の合成, 日本化学会第95春季年会, H27.3.</li> <li>• 名取圭紀, <u>辻元英孝</u> : カルボキシル基を有するリン光性発光材料の生成条件の検討, 日本高専学会第21回年会, H27.8.</li> <li>• 廣山裕汰, <u>辻元英孝</u> : 高い発光量子収率を示す青色リン光性発光材料の骨格検討, 日本高専学会第21回年会, H27.8.</li> </ul> <p>他1件</p> <p>◆ 平成26～28年度における外部資金獲得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新攪拌方式の有機反応速度への影響に関する研究（100,000円）, H26.</li> <li>• イオン液体の再生に関する研究（100,000円）, H26.</li> <li>• 長岡技科大共同研究助成（150,000円）, H27.</li> <li>• 株式会社ヒロハマ（100,000円）, H27.</li> </ul>
社会貢献	<p>◆ 平成26～28年度における公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 公開講座：子と親の楽しいかがく教室（H26年度～H28年度）</li> <li>• 公開講座：子と親の楽しい化学教室（H26年度～H28年度）</li> <li>• 公開講座：中学生の実験教室（H26年度, H28年度）</li> <li>• 出前授業：八尾市桂青少年会館（H26年度～H28年度）</li> <li>• 研究発表会：第54回寝屋川市児童理科研究発表会（H28年度）</li> </ul> <p>◆ 平成26～28年度における学会などでの委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本化学会近畿支部化学教育協議会委員（H27年度～H28年度）</li> </ul>